

指導事例

※ 該当する項目を囲み線で囲ってください。

学びの場	特別支援学級・通級による指導・通常の学級・その他		
校 種	小学校・中学校	学 年	1・2・3・4・5・6年
指導場面	授業・学級活動・学校行事・学校生活・その他		
障 害 種	弱視・難聴・知的障害・肢体不自由・病弱・言語障害・自閉症・情緒障害・学習障害・注意欠陥多動性障害・その他		
教科・行事名等	保健		
タイトル	手をきれいに洗おう！		
児童生徒の障害による学習上・生活上の困難・課題	言葉のみでの理解が難しい。イメージする想像力が弱い。		
上記困難・課題を踏まえた指導の目標・配慮事項	石けんを使い手洗いに取り組む。		
上記困難・課題を踏まえた感染拡大防止の取組	登校や外での活動後、教室前の水道で石けんを使い手洗いを確実にし、ウイルスを教室に入れないようにする。		

※ 以下に事例の内容説明を簡潔に記入ください。

- ①朝の会の先生の話の中で、汚れたらけの手（写真①）を見せ、何を使えばきれいになるか質問をする。
- ②石けん（写真②）、きれいになった手（写真③）を見せ、石けんがウイルスを除去するのに効果的であることを見せる。
- ③教室に掲示をし、常に確認ができるようにしておく。
- ④給食指導に向けて、栄養教諭と共同し手洗い指導を行う。

（写真①）



（写真②）



（写真③）



指導事例

※ 該当する項目を囲み線で囲ってください。

学びの場	<u>特別支援学級</u> ・通級による指導・通常の学級・その他		
校 種	<u>小学校</u> ・中学校	学 年	1・ <u>2・3・4・5</u> ・6年
指導場面	<u>授業</u> ・学級活動・学校行事・学校生活・その他		
障 害 種	弱視・難聴・ <u>知的障害</u> ・肢体不自由・病弱・言語障害・ <u>自閉症・情緒障害</u> ・学習障害・注意欠陥多動性障害・その他		
教科・行事名等	学習場面・日常生活		
タイトル	しっかり手洗いしよう		
児童生徒の障害による学習上・生活上の困難・課題	ばい菌やウイルスを意識した手洗いを行うことが難しい。		
上記困難・課題を踏まえた指導の目標・配慮事項	洗い残しがないようにしっかり手を洗うことができる。 手についた汚れが見えるため、十分な手洗いのポイントが理解しやすい。		
上記困難・課題を踏まえた感染拡大防止の取組	「手洗いチェッカー」により洗い残しに気づくことができ、軍手を見たりはいたりすることで、自分の手のどこを洗えばよいのかが分かるため、十分な手洗いができるようになる。		

※ 以下に事例の内容説明を簡潔に記入ください。

- ・専用ローション「手洗いチェッカー」をつけてから手洗いし、紫外線を当てることで洗い残しが光って見える。その手で触ったところも蛍光塗料が光る。
- ・汚れが残りやすいところを意識するため、軍手にマーカーで色を塗った。



指導事例

※ 該当する項目を囲み線で囲ってください。

学びの場	特別支援学級・ <u>通級による指導</u> ・通常の学級・その他		
校 種	<u>小学校</u> ・中学校	学 年	1・2・3・4・5・6年
指導場面	授業・学級活動・学校行事・学校生活・その他		
障 害 種	弱視・難聴・知的障害・肢体不自由・病弱・言語障害・ 自閉症・情緒障害・ <u>学習障害</u> ・ <u>注意欠陥多動性障害</u> ・その他		
教科・行事名等	学習場面・日常生活		
タイトル	授業準備をしよう		
児童生徒の障害による学習上・生活上の困難・課題	休み時間に手洗い・お茶・マスクをつけて次時の準備をすることになっているが、遊びに夢中になり、忘れてしまうことが多い。		
上記困難・課題を踏まえた指導の目標・配慮事項	誰に言われるわけでもなく、自分でポスターを見て行動できることで、自己肯定感を上げる。		
上記困難・課題を踏まえた感染拡大防止の取組	感染拡大を防ぐとともに熱中症の予防も心掛けたい。毎時、少しでも水分補給させ、元気に生活できるようにする。		

※ 以下に事例の内容説明を簡潔に記入ください。

- ・教室の入り口で、挨拶をできるよう、足形を置く。
- ・入り口についたてを立て、教室の中と外を仕切り、教室の換気をする。
- ・ついたてに「学習前のお約束」ポスターを掲示し、授業前にすべきことを教師に声をかけられる前にすることで、自己肯定感を上げることができる。
- ・マスク・手洗い・茶を飲む、の頭文字をとって「マテ茶」を合言葉に、気持ちよく授業の準備ができるよう、休み時間前に声をかけ、習慣化できるようにしていく。



指導事例

学びの場	特別支援学級・通級による指導・通常の学級・その他		
校 種	小学校・中学校	学 年	1・2・3・4・5・6年
指導場面	授業・学級活動・学校行事・学校生活・その他		
障 害 種	弱視・難聴・知的障害・肢体不自由・病弱・言語障害・自閉症・情緒障害・学習障害・注意欠陥多動性障害・その他		
教科・行事名等	学級活動		
タイトル	ウイルスたいじだ！GO！5！		
児童生徒の障害による学習上・生活上の困難・課題	コロナウイルス感染拡大で大変な状況になっていることを理解できにくく、手を洗うことを嫌がったり、不衛生な行動をとってしまったりすることがある。		
上記困難・課題を踏まえた指導の目標・配慮事項	外から帰った時、トイレの後、給食の前など丁寧に手を洗ったり、うがいをしたりすることができる。		
上記困難・課題を踏まえた感染拡大防止の取組	病気を防ぐために大切な「5つの約束」を知り、少しでも自分で気をつけ、守っていけるようにする。		

1 コロナウイルスの怖さを知る。

ウイルスが体に入ると、熱が出る、咳が出る、とてもしんどくなることを知る。さらに感染症になると家族と離れ入院しなくてはならないなど怖さを絵や図を使い、理解ができるようにして進めていく。

2 コロナウイルスを体の中に入れないために守っていく「5つの約束」を確認する。

コロナウイルス退治の「5つの約束」

- ① マスクをつける。
- ② 手洗い・うがいをする。
- ③ 手指の消毒をする。
- ④ 友達とくっつきすぎない、離れる。
ソーシャルディスタンスを守る。
- ⑤ くしゃみや咳をする時は、口を押さえる。
咳エチケットを守る。
実物を見せたり、ソーシャルディスタンスの距離を手を広げた幅で確かめたりして、理解ができるようにする。



* イラスト無料素材を使用して、カード作成

3 正しい手の洗い方、うがいの仕方を練習する。

手洗いの順番カードを見ながら実際に洗ってみたり、うがいをしたりする。
上手にできたら、ご褒美シールを貼り、やる気を引き出すようにする。

4 「5つの約束」を一緒に読み、再確認する。

「ウイルスたいじだ！」の合図で、「GO！5！」と言い、自分でも進んで楽しく守っていけるようにすすめる。

指導事例

※ 該当する項目を囲み線で囲ってください。

学びの場	特別支援学級・通級による指導・通常の学級・その他		
校 種	小学校・中学校	学 年	1・2・3・4・5・6年
指導場面	授業・学級活動・学校行事・学校生活・その他		
障 害 種	弱視・難聴・知的障害・肢体不自由・病弱・言語障害・自閉症・情緒障害・学習障害・注意欠陥多動性障害・その他		
教科・行事名等	日常生活		
タイトル	手を洗おう！うがいをしよう！		
児童生徒の障害による学習上・生活上の困難・課題	手洗いうがいの習慣がなく、促しがなければできない。		
上記困難・課題を踏まえた指導の目標・配慮事項	外から戻った時や食事の前に手洗いうがいができる。		
上記困難・課題を踏まえた感染拡大防止の取組	清潔を保つことができる。		

※ 以下に事例の内容説明を簡潔に記入ください。

手洗い

- ・水道に手洗いの手順書を掲示する。
- ・時間割の中に手洗いの時間を組み込む。
- ・一緒に手洗いをする。



うがい

- ・教師が見本を見せる。
- ・上を向いて「あ～」と声を出す。
- ・少しずつ口に水を含む。
- ・「ガラガラ～ペツ」と擬音語をつけて練習する。個別指導のため、実施可。

指導事例

※ 該当する項目を囲み線で囲ってください。

学びの場	特別支援学級・通級による指導・通常の学級・その他		
校 種	小学校・中学校	学 年	1・2・3・4・5・6年
指導場面	授業・学級活動・学校行事・学校生活・その他		
障 害 種	弱視・難聴・知的障害・肢体不自由・病弱・言語障害・自閉症・情緒障害・学習障害・注意欠陥多動性障害・その他		
教科・行事名等	日常生活の指導		
タイトル	手は、いつもきれいにね		
児童生徒の障害による学習上・生活上の困難・課題	活動の見通しが持ちにくい。どの時間にうがいや手洗いをするのか理解しにくい。人との適切な距離が保ちにくい。		
上記困難・課題を踏まえた指導の目標・配慮事項	手洗いやうがいの時間に、進んで行うことができる。 課題ができた喜びは、「ひじタッチ」で表すことができる。		
上記困難・課題を踏まえた感染拡大防止の取組	1日に2回以上の丁寧な手洗いやうがいを実施する事で、自ら感染を予防する態度を養うことができる。またひじタッチを行う事で手からの感染を予防することにつながる。		

※ 以下に事例の内容説明を簡潔に記入ください。

・ うがい・手洗いをしっかりしよう

1日の予定に、うがいや手洗いの時間を設定し、どの時間に手洗いやうがいをするのかはっきりさせた。また、手洗いではタブレットの動画を見ながら行い、丁寧に時間をかけて洗うことができるようになってきた。また、交流学級の児童と一緒に見ながら洗うことができた。



・ ハイタッチはひじタッチで

多くの人とコミュニケーションを楽しむことを喜ぶ児童なので、学習中も「ハイタッチ」を求める。「ひじタッチ」を教えると、課題ができた喜びを表せるようになってきた。



指導事例

※ 該当する項目を囲み線で囲ってください。

学びの場	特別支援学級・通級による指導・通常の学級・その他		
校 種	小学校・中学校	学 年	1・2・3・4・5・6年
指導場面	授業・学級活動・学校行事・学校生活・その他		
障 害 種	弱視・難聴・知的障害・肢体不自由・病弱・言語障害・自閉症・情緒障害・学習障害・注意欠陥多動性障害・その他		
教科・行事名等	学級活動		
タイトル	手洗いの大切さを知ろう		
児童生徒の障害による学習上・生活上の困難・課題	なぜこまめに手を洗うことが必要なのかを理解することが難しい。		
上記困難・課題を踏まえた指導の目標・配慮事項	手洗いの大切さを知り、すすんで手を洗えるようになる。		
上記困難・課題を踏まえた感染拡大防止の取組	手についた汚れや菌を可視化し、手でいろいろな場所を触っていることに気づかせる。		

※ 以下に事例の内容説明を簡潔に記入ください。

<考えよう>

- ・なぜ手洗いや消毒が必要なのかを考えさせる。
- ・ばい菌がどこから体に入ってくるのか考えさせる。(目・鼻・口)

<やってみよう>

- ・生活の中で、手でいろいろな場所を触っていることに気づかせる。

方法：①片栗粉を手につける。(感触が苦手な場合は手袋を使う。)

②「教室に入って椅子に座る」などの指示されたことをやってみる。

③どこに粉がついたか確認し、シールを貼る。

- ・菌のついた手で目や鼻を触ったり、食事をしたりすると菌が体に入ることに気がつかせる。(ばい菌シールを用い、体に菌が入ることを実演して見せる。)

- ・紙芝居を見ることで、一人一人がこまめに手を洗うことの大切さを知る。
『こまめに手洗いをするAちゃんと、洗っていないBくん』

<まとめ>

- ・いろいろな場所を触る手に菌がついている可能性が高いことに気づく。
- ・みんなで声をかけあって、手洗いや手指消毒を行う大切を知る。

<ふりかえり>

- ・学習を振り返り、感想を発表する。